



式中だより

413号

令和4年(2022年)

11月25日(金)

発行 式根島学園 式根島中学校

04992(7)0017

「心と体を整える」

校長

島のあちこちで紫式部のつやのある実を見る季節となりました。さて、本校では今年度より毎朝5分間、全員でヨガを取り入れた「Arrange(整える)Time」に取り組んでいます。姿勢の保持と視力低下防止を目的に、インストラクターの藤井麗さんに相談して10個のプログラムを作っていただきました。心と体を整えて一日のスタートを習慣化することにもつながります。

4月から始め約7ヶ月、「継続は力なり」という言葉がありますが、姿勢の保持については改善が見られ、生徒も意識する場面が多くなってきました。また、一日の始まりにヨガを通して自分と向き合う時間を過ごすことで落ち着いて学習に取り組むことができていると感じています。視力低下防止については、一人1台端末の活用による視力低下を心配する声も上がっています。その防止策としてヨガに取り組み、長時間の使用を控える、遠くをぼんやり眺めて目を休めるなど工夫をしていきます。

11月14日には藤井麗さんに来校していただき、「ひとつひとつのプログラムに込められた思い」や「一人一人違ってよいこと」、「心地よいと思うポーズでよいこと」などを聞き、生徒からの質問に対応していただきました。これからも健康な心と体づくりを目指していきます。

「人は繰り返し行うことの集大成である。だから優秀さとは、ただ一度の行為でなく、習慣なのだ。」

(アリストテレス)

学校 2020 レガシー「障害者理解」

「人権教室のお知らせ」

人権について一緒に考えてみませんか。地域の方も参観できますので御来校ください。また、感染症対策(マスク・手指消毒・ディスタンス・検温等)への御協力をお願いします。

- 1 日時 令和4年12月2日(金) 10:25~授業(保健体育) 11:25~講演会
- 2 場所 式根島学園 式根島中学校 体育館
- 3 内容 パラアスリート(陸上競技) 高田千明さんによる授業及び講演会

※天候により講師が来島できない場合は、中止とさせていただきますので御了承ください。

島の子発表会を終えて

学習発表会担当

島の子発表会では、総合的な学習の時間「式根島未来会議」の学習において、4月からそれぞれのグループで「つなぐ・つなげる一島づくりの主役は中学生だ」というテーマのもと、探究してきた内容や成果を分かりやすく、工夫して発表することができました。どのグループの発表からも、生徒が地域の一員として、式根島を活性化させるために何ができるかを一生懸命に考えた姿が伝わってきたのではないかと思います。総合的な学習の時間の探究学習は、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現を一つのサイクルとして、そのサイクルを発展的に繰り返すことで生徒の問題解決力等の資質・能力が高まっていきます。5~9年生の発表内容はいずれも式根島に関することでしたが、学年を重ねるごとに、より深い探究を行うことができていました。最後に、「式根島未来会議」の学習を進めるにあたり、多くの地域の方にご協力をいただきました。ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



生徒会募金活動の報告	生徒会担当
<p>今年度も島の子発表会当日の開演前、休憩中に募金活動をさせていただきました。募金先は中学校の生徒会役員が中心になり決定し、今年度は「ウクライナ緊急募金」への募金としました。今回の寄付額は 50,335 円となりました。募金にご協力していただいた皆様ありがとうございました。</p>	

生徒総会を終えて	生徒会担当
<p>10月27日(木)に令和4年度生徒総会が行われました。前期委員会の活動報告と後期委員会の活動方針の確認がありました。よりよい式根島中学校にするため、生徒一人一人が意欲的に取り組み、多くの質問や要望への回答が各委員会の委員長から行われました。議長や司会も生徒自身が全て務め、全校生徒で式根島中学校をよりよくしようとする姿は大変頼もしいものでした。</p>	

式根島未来会議カフェトークのお知らせ	式根島未来会議担当
<p>11月29日(火)13:30から本校にて、式根島未来会議カフェトークを行います。カフェトークでは、中学生と島民の皆さんで「式根島の可能性」について意見交換を行います。そこで出た意見を手がかりに、今後、生徒が自分でテーマを設定し、式根島の活性化を目指して探究学習を行います。申込方法は、電話またはQRコードでお申し込みください。たくさんの方の参加をお待ちしております。</p>	

波ようねりよ

保健体育科

陸上の人気種目であるマラソン。その世界記録は、ケニアのエリウド・キプチョゲ選手のもつ2時間1分39秒が最速タイムとして知られている。反対に、最長タイムの世界記録は日本人が持っていることを知っているだろうか。その人物とは、箱根駅伝の生みの親で、「日本マラソンの父」として知られる金栗四三選手。1912年に開催されたストックホルムオリンピックのマラソンに出場した金栗選手は、レースの途中で日射病により意識を失い、倒れてしまう。幸い、付近の農家に助けられるが、目を覚ましたのは、なんと翌日のこと。ところがそのことが主催者に伝わらず、彼は「行方不明」の扱いに...

それから約55年後、76歳の金栗選手はオリンピック記念式典に招待されゴールテープを切らせてもらう。すると「日本の金栗、ただいまゴールイン。タイム54年と8か月6日5時間32分20秒3、これをもって第5回ストックホルムオリンピック大会の全日程を終了します」とアナウンスが流れた。完走後に金栗選手は「長い道のりでした」と感極まった様子で振り返った。

最速記録と最長記録、相反するもののように思えるが、両選手の達成感や成就感はどちらも言葉にできないものだったはず。目標達成やゴールは必ずしも早ければいいというものではないのかも知れない。一人一人に合ったペースがあり、ゴールがある。その中で得た経験が、人生を豊かにする。

12月の予定

生活目標：	2学期のまとめをしよう
保健目標：	かぜ、インフルエンザを予防しよう
給食目標：	行事と食のつながりについて考えよう

『式中だより』は、毎月25日をめどに発行していきます。

2	金	朝礼 パラアスリート講演会	22	木	大掃除
6	火	生徒委員会	23	金	終業式
7	水	三者面談(全学年)	26	月	冬期休業 始
14	水	生徒会朝礼			

